

くるめ・つながる・くらす通信

第2回 11月18日

【話し合いの流れを実践してみよう！】

第2回の思い出

みなさまこんにちは！生涯学習推進課の塩足です。前回から一週間経ち、ちょっと固い顔で集まりました皆さんですが、話始めるととても楽しそうな雰囲気に！初めて参加された方も安心できる場になっていたかと思いません。第2回では、「この1週間で起きた話」をお互い話した後、山口先生の解説から、話し合いの流れを実践するワークがはじまりました。「何かを決める」ことに対話を用いる練習として、それぞれグループに分かれて、とあるテーマに対して「広げる」・「集める」・「決める」という話し合いの流れを実践して発表まで取り組みました。

ファシリテーターに挑戦した方々の頑張りとそれをフォローしあうみなさまの姿が大変印象的でした。今回の話し合いのテーマは「若者を地域活動に入れるための優先順位を決める」というものでした。日本中が頭を悩ませている難題に40分で、グループとしての結論を見出そうという実践のなかで、みなさまがお感じになられたことは非常に多かったのではないかと考えています。塩足君は対話の心得にあった「一人2分以内」って意外と短いんだなあと感じたりしました。実践を通すことで見える景色があるものですね。



—今日のハイライト—

特に思い出深い話を書いていきたいと
思います。「ああ、ここを拾うんだー。自分と違うなあ」なんて思いながら読んでもらえるとうれいです。

話し合いの流れを山口先生が解説されていましたが、エッセンスが詰まりすぎていてそこだけで2時間どころじゃない内容が詰まっていたような気がします。話し合いの流れ①の「広げる」は安心できる場のなかで意見を互いに出し合うこと？③は出てきた意見達の中から「決める」ということなのかな？とイメージしやすかったのですが、②の判断材料を「集める」ことの要点をつかむことに塩足君は静かに苦戦していました。この②が肝であり、難しそうだなあと感じていましたが、皆さんの対話を見ていると、このパートで気づきがあったり、意見が混ざっていたりして、大変盛り上がりを見せていたように思います。「自分が〇〇だったらこうかも」あるいは「10年後はこうかも」という視点を持ちながら、誰かの意見が混ざっていくことには楽しさが隠れているんだなと感じました。



☆塩足君の心に留まった一言☆

- ・「いい話し合いが起きている間、ファシリテーターは意外とやることがない」
- ・「地域活動への参加の仕方は人間関係で構築されている」

今後の予定

♪第3回 12月9日♪

好きなこと×まちづくり～アイデア編～

☆みなさまの好きなことをお聞かせください☆